

中学校部活動の地域展開とは？ [資料5-3]

芦屋市ではこれまでの中学校での学校部活動に代わるものとして
地域クラブによる活動がスタートできるよう取組を進めています。

1 背景

少子化による生徒数の減少等に伴い、中学校では、こどもたちが希望する部活動を維持することが難しくなったり、部員が集まらず満足な練習ができない、チームが作れない、大会に参加できないなどの影響が出てきています。

今後、さらなる少子化が見込まれるなか、国では、こどもたちのさまざまな活動が持続可能なものとして維持できるよう、学校部活動に代わるものとして、文化・スポーツ活動や、さまざまな体験活動の場を地域に展開していくことを目指しています。

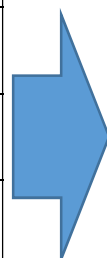
芦屋市でも、令和8年の夏を目途に、こどもたちにとって、よりよい地域クラブ活動がスタートできるよう、現在、準備を進めているところです。

2 地域展開で目指すもの



3 部活動と地域クラブの違い

	中学校部活動
位置づけ	学校教育の一環として学校が実施
指導者	学校教員、部活動指導員等
参加者	原則在学する中学校の生徒
活動場所	原則在学する学校の施設
費用負担	部費(実費)
保険	日本スポーツ振興センター災害給付制度



	地域クラブ
	地域の各クラブが行う多様な活動
	地域の多様な人材 希望する教職員等の兼職兼業
	そのクラブに参加を希望する生徒 (校区外や他自治体の生徒も想定)
	学校や体育館などの公共施設 そのクラブが活動している施設
	地域クラブの会費+実費
	スポーツ安全保険

**中学校の部活動は、令和8年の夏を目途に地域が運営主体となった活動に
新しく生まれ変わります！**